

きれいな空気よいい水を求めて

かんきょう 会報

Vol. 8



photo : 「タイのサンクチュアリー」スター精密(株) 小山勝己

平成 20 年度
通常総会開催
新会長就任の挨拶 ...1
平成 20 年度環境保全功労者の表彰 ...2
環境保全知事褒賞の表彰 ...2
講演会 “人材と人財” ...3

環境の日
三保真崎海岸で清掃奉仕活動 ...4

県内優良施設見学研修会
ハウス食品(株) 静岡工場
ヤマハ(株) 本社工場 ...5

苦情処理の現状と対策
～騒音・振動の場合～ ...6

かんきょうにゆーす ...7



この会報誌は古紙配合率 100%、
白色度 70%の再生紙を使用してい
ます。

平成20年度
通常総会

静 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

平成20年度 通常総会 開催

時:5月19日(月) 於:(株)クーポール会館 7階「月華」

平成20年度の通常総会が開催され、来賓の静岡市環境局長の内山和俊氏からご祝辞を賜り、静岡市環境創造部長の小原喜徳氏、東海大学名誉教授の岡部史郎氏を紹介させて頂き、平成20年度環境保全功労者の表彰式が行われました。その後5つの議事について審議を行い承認されました。尚、役員改選にあたり、会長には、三菱電機(株)静岡製作所所長原正一郎氏が退任し、(株)小糸製作所専務取締役小石原宏氏が就任されました。

- 報告第1号 平成19年度事業報告
- 認定第1号 平成19年度収入・支出決算
- 第1号議案 役員の選任(案)について
- 第2号議案 平成20年度事業計画(案)
- 第3号議案 平成20年度収入・支出予算(案)



講演会終了後、意見交換会が8階「スカイラウンジ」で行われ、講師の山田先生を始め、会員同士が親睦を図りながら歓談する様子が見られました。

新会長就任の挨拶

(株)小糸製作所



専務取締役
小石原 宏

今年度から、当会の会長に就任いたしました(株)小糸製作所の小石原でございます。

この場を借りて一言ご挨拶をさせていただきます。

さて、7月7日～9日には、北海道洞爺湖サミットが開催され、温室効果ガスの削減に国境を越えて真剣に取り組む時期を迎えました。

さらに近年は、地球環境問題に対する取り組みの重要性は強まっており、経済活動を始め人間の営みと密接な関係にあるこの問題に、市民や行政、事業者が連携協力し行動しなければ促進することは難しいといえます。

当会におかれましては、本年度も引き続き研修会やセミナーを開催しながら、地球環境問題に対する情報提供や会員相互の意識啓発に努め、さらに、行政が実施する環境保全活動に協力しながら事業を推進して参りたいと考えております。また一般市民に対しては、環境セミナーで呼びかけ、共有の知識を提供したいと思っております。

今後は、役員一同、会の発展に精励する所存でございますので、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

通常総会

平成20年度 環境保全功労者の表彰

【個人表彰】

平成20年度
環境保全功労者の表彰

後列左から
副会長 佐塚一仁様、
会長 小石原宏様、
前会長 原正一郎様
前列左から
山田篤様、原田隆雄様

東ブ(株) 分析センター長 山田 篤様

この度は静岡県環境保全推進協会会員の皆様ご出席の中で表彰式を開いていただき、その上表彰状及び記念品を頂きましてありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

私は、入社以来11年間環境測定及び分析業務を通して環境保全に微力を尽くしてまいりました。その努力を認めて頂いたことは今後仕事をしていく上で大きな励みになりました。これもひとえにお世話になりました各事業所の皆様、上司、先輩をはじめ同僚の方々のご指導や励ましのおかげと心から感謝しております。

今後も事業所様の環境保全にお役に立つよう仕事に邁進すると共に環境保全活動に取り組んでいきたいと思っております。この度の表彰、誠にありがとうございました。

フジ日本精糖(株) 清水工場 製造本部製造部 次長 原田隆雄様

この度は静岡県環境保全推進協会様より環境保全功労者表彰を頂きまして、誠に光栄に思います。

昭和47年にフジ製糖に入社以来、ボイラー運転業部に従事し諸先輩方より運転に関する技能・知識を教わって参りました。それらを後輩達に継承し巣立って行く姿を見て「自分もこうだったのかな〜」と今更の様に思う事があります。

その間ボイラーの更新に2度に涉り携わり、貴重な経験をさせて頂きました。2度目の更新は燃料が都市ガス使用の為、今までと全く違った設備に戸惑った経緯があります。

重油燃料の時にはC重油の強烈なスラッジに見舞われ、一晚中ストレーナーの掃除を行った事や、停電にてボイラー停止後炉底の水管が破裂し右往左往した事が思い出されます。

今は都市ガスの遠隔監視ボイラーにて「嘘」の様に手が掛からず時代の流れを感じます。今回の表彰を残り少ない社会人生活の糧とし過ごしてまいる所存です。

環境保全知事褒章の表彰

静岡県環境保全課から「環境保全功労知事表彰及び環境保全知事褒賞」に係わる依頼を受けて、当会から「環境保全知事褒賞」に該当するとして、下記の2名を推薦させて頂き、6月7日(土)平成20年度環境月間県民大会において表彰されました。於：島田市民総合施設プラザおおるり

フジ日本精糖(株) 清水工場 中村 勉様



このたび、思いもよらずに地域の環境保全活動の分野で、「環境保全知事褒章」を頂くことになり、身に余る光栄と感謝しております。これも皆様方の永年にわたる、あたたかいご指導とご支援のたまものと心から感謝しております。

振り返れば、地域へ参加したきっかけは、公害防止管理者試験に合格し、当社の環境担当者の仲間入りした時からでした。ちょうど25年前です。その後も、当社の当協会の担当者として、本格的に参加させて頂くこととなりました。また、神様のおぼし召しもあって転勤も無く、永年に渡り当協会を通じて、研修会、セミナーなどで、良い勉強をさせて頂き、また、活動させて頂いたことに感謝したいと思います。

今後も、この榮譽に恥じる事の無い様、活動する所存でございます。本当に、有難うございました。

日立アプライアンス(株) 清水事業所 総務部環境グループ 部長代理 大滝正春様



この度、「環境保全知事褒章」の榮譽ある賞を賜り、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。これも偏に環境保全推進協会、関係上司、諸先輩の御指導と御協力の賜と心より感謝申し上げます。

私は、入社以来、設備保全、インフラ設備及びエネルギー-管理業務を中心に担当させて頂き、弊社の基本理念であります「地球環境の保全に配慮した企業活動」に基づき事業所の省エネルギー-及び公害防止に取組み、主にインフラ設備の省エネ更新と燃料転換、乾燥炉を中心とした熱設備の燃焼調整を推進し、微力ながら地球温暖化防止と公害防止を図って参りました。

今後も今回の受賞を機に、更なる温暖化防止と環境保全に貢献できるよう努めて参りたいと考えております。

平成20年度
通常総会

静 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

講演会

[演題]人材と人財

[講師]未来工業(株)取締役相談役 山田昭男氏

未来工業は本社が岐阜県にある電気設備資材のメーカーで、山田昭男氏が創業者である。未来工業は、この山田氏の少し変わった経営理念により、シェア80%を誇る飛躍的な成長を遂げている。

この未来工業には、一般企業の新入社員教育で必ずといっていいほど実施されている報・連・相が禁止されている。これは「一番状況を把握している担当者が判断せよ」と言うことだ。

また、上場企業の中では、年間休日が140日と最も多く、一日の所定労働時間も7時間45分と短い。さらに、社員の残業を禁止し、残業をしたければ、残業時間の電気代は社員の給与から天引きするといった徹底振りである。

山田氏は、社員は会社の材料ではなく、感情を持っている人財であると考え、社員の為に他社との差別化することを常に考えている。会社を発展させるためには、社員の力が必要であり、それは社員を感動させることで発揮される。社員が感動すれば、会社の為に頑張ることが出来、お客様を感動させられる事が出来る。お客様は感動すれば商品を買ってくれるので会社は発展する。

未来工業では様々な方法で他社との差別化を図り、社員に感動を与えている。

年間休日や所定勤務時間もそうであるが、その

他にも提案制度がある。提案制度は各社取り組まれていると思うが、未来工業では、提案1件毎に中身を問わず現金を支給している。そうすることにより、提案活動は継続され、その中身も充実してくる。

また、70歳定年制や社員旅行の全額会社負担等を実施している。これも差別化のひとつであり、他社が60歳定年を採用していれば、70歳とし、しかも71歳の前日が定年日である。社員旅行の全額会社負担では、岐阜県の新聞記事となった。新聞記事になると、それを読んだ社員の友人や知人が会社を褒めてくれる。そこで社員は更にやる気になる。

数年前より経営改革として成果主義を導入する企業が急激に増えたが、社員の士気が低下し失敗した企業もあった。経営者の考えが社員に浸透しなかった結果だろうと思う。山田氏は反成果主義を打ち出し、社員のやる気を徹底的に引き出そうとする姿勢が様々な制度となり、経営者の考えが社員に分かり易く伝わっているのだろうと感じた。

今回の講演により、「企業は人なり」を改めて強く感じさせられる内容であった。

(株)ノダ 海野 晃



三保真崎海岸で 清掃奉仕活動

TOMOEGAWA
深谷和彦



過去最多1238名が清掃奉仕活動に参加

6月7日(土) 静岡市環境保全推進協会主催で「三保真崎海岸 清掃奉仕活動」を行いました。これは、毎年6月5日が「環境の日」であることにちなみ、静岡市の皆さんの憩いの場である三保真崎海岸のごみを拾って海岸をきれいにすると共に環境に少しでも関心を持っていただくとの趣旨で実施しています。

清掃奉仕活動は当日の天気にも恵まれ、さわやかな海風がそよぐ中、過去最多となる1238名(66社)の参加者を得て実施されました。三保の真崎海岸は、普段は広々とした砂浜が広がっていますが、この日ばかりは多くの人で埋め尽くされ、大賑わいでした。中には家族連れでの参加もあり、小さなお子さんがごみ袋を片手に一生懸命ごみ拾いをするなど、微笑ましい光景も随所に見られました。

三保真崎海岸は当会だけではなく他の企業や各種団体、東海大学などでも独自の清掃活動を実施されていることから、比較的きれいな状態を維持できている場所ではありますが、それでも、1時間ほどの短時間で、紙・木くず・発泡スチロール・PETボトルなどの可燃ごみが「1,410kg」、ビン・カン・ビデオデッキ・テレビなどの不燃ごみが「820kg」と、全体で2トン強という非常に多くのごみが回収されました。これとは別に、不法投棄の冷蔵庫も2台回収しております。

当会を含め多くの団体による清掃活動にもかかわらず、これだけのごみが収集できてしまう、これが現状です。「自分ひとりぐらいは...」おそらく、ごみを捨てていく方は、ごく軽い気持ちでやってしまうのではないかと思います。読んで字のごとく「塵も積もれば山となる」です。ごみの山を作らないためにも、一人一人の心がけが如何に大切か、痛感した次第です。

また、今回の三保真崎海岸清掃奉仕活動では、昨年に引き続き、清掃活動終了後にビンゴゲームを行い、昼食用にお弁当をお配りしました。これを楽しみに参加していただいている方もいらっしゃると思いますが、ビンゴゲーム



ムでは参加各社から多数の景品をご提供いただき、楽しい司会進行のもと、大いに盛り上がりました。また、ビンゴゲーム終了後にはあちらこちらでグループの輪ができ、初夏の日差しの中、お弁当を片手に話に花が咲いていました。皆さん思い思いに楽しい一時を過ごされていたようです。

普段の生活の中でも、ごみの分別収集やマイバック運動などが定着しつつある状況で、環境保全への意識は高まりを増しています。そのような中で取り組んでいる三保真崎海岸の清掃奉仕活動が環境への関心をより一層高めるための一助となれば幸いです。

「県内優良施設見学研修会」に参加して

DATA

日時 / 平成20年9月4日(木)

見学施設 / ハウス食品(株) 静岡工場 ヤマハ(株) 本社工場

昨日までの暑さが一段落して朝から小雨の混じる中総勢41名(会員企業:37名、静岡市環境保全課・事務局4名)で「県内優良施設見学研修会」が実施されました。見学中の天気も心配されましたが見学中は雨に降られることなく無事に研修会を終えることが出来ました。

1. ハウス食品(株) 静岡工場

(1) 概要

袋井市に位置しハウス食品(株)の5番目の工場として昭和57年に操業を開始し、12万㎡を超える広大な敷地の中にありトンガリコーンやパーモントカレー、レトルトカレーの製造を行なっています。

(2) 環境保全活動

1998年にISO14001の認証を取得し様々な環境活動に取り組んでいます。製造工程で排出される工場排水は魚が住めるほどきれいな水にして排出するなど環境には特に配慮しています。また工場内で排出される廃棄物のうち98.5%はリサイクルとして家畜のえさなどに再利用されています。また、一般消費者も環境活動に取り組めるように廃棄性の向上、省資源化、繰り返し使用の出来る製品等を製造し環境に配慮しています。

(3) 感想

広い敷地の中は緑地も多く、また全自動電気自走車が製品や原材料を運び空気もとてもきれいな工場と感じました。扱っている物が直接口に入る食品工場ならではの品質管理体制の厳しさには驚くしかありませんでした。



ハウス食品(株) 静岡工場

2. ヤマハ(株) 本社工場

(1) 概要

浜松市にある非常に歴史のあるピアノを製造している工場です。ここでは世界各国に輸出するために輸出する地域の湿度に合わせて在庫しています。古い建物ながらとてもきれいな工場です。

(2) 環境保全活動

1994年に環境に対する基本的な考え方を示す「ヤマハ地球環境方針」を制定し以降ヤマハグループ全体で環境保全活動に取り組んでいます。

開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において資源の有効利用と省エネルギーの推進を図っています。

本社工場では14号棟の屋上にソーラーパネルを取りつけ太陽光発電システムを取り入れました。

そのことにより年間7万kwhの電気を発電し年間約46トンの二酸化炭素の排出削減に成功しています。

(3) 感想

工場の中はとても整理されていて無駄のなさを感じました。だからこそ環境に対して配慮出来るのだと痛感させられました。

また、太陽光発電の状態が一目で分かる環境ボードはとても興味を引きました。

理研軽金属工業(株)
佐藤正明



ヤマハ(株) 本社工場

苦情処理の現状と対策

～ 騒音・振動の場合 ～

静岡市環境局環境創造部環境保全課 主査

和田裕久

騒音苦情対応の中で思うこと

騒音と振動に関する業務は、市内の環境騒音や道路振動などの環境調査を行うほか、年間100件近く寄せられる苦情対応があります。

騒音と振動に関する苦情というのは、主に工場や事業所、建設工事、自動車の走行などに対して寄せられることが多く、最近ではカラオケなどの深夜営業に対する騒音苦情も増えてきております。

市民から苦情が寄せられると、発生源に行き担当者に苦情の内容を伝え問題解決を促すのですが、市民の苦情内容が様々であるのと同様に、発生源の対応も様々であります。

まず、苦情が発生するということは、近隣住民の感情が、「もう、がまんできない」というレベルに達しています。つまり受忍限度を超えてしまっているわけです。そして、そのことについて「市役所に相談する」という行動を起こすわけですから、この時点で、すでに受忍限度を大幅に超えている方が多いのです。

このような申立人に対して、事業者が「規制基準値を超えていないのだから問題ない。」というスタンスでは問題の解決は困難です。それどころか、対応への不満からさらに問題を複雑にし長期化してしまうことも少なくありません。

事業者にも「出来ること」と「出来ないこと」があるわけですから、「出来ることはやる。」また「出来ないことは、出来ない理由を伝える。」という誠意ある対応が大切であると、日々の苦情対応の業務の中で感じています。

事業者の誠意のある対応によって、申立人の受忍限

度のレベルを上げることがあり、防音対策を講じたことと同様の効果につながることもあります。そしてこれは、私たち職員にとっても同じことが言えます。

以前、24時間操業している工場で深夜に台車を使用して製品を運搬する音に対し、近隣住民から「うるさくて目が覚めてしまう。」という苦情を受けたことがありました。

私たち職員が工場に伺い、担当者に苦情内容を伝えたとこ、担当者らは徹底的に原因究明を行った結果、運搬ルートの変更という対策を講じてくださいました。また、その事業所は対策後も、市を通して積極的に申立人の満足度を確認し、このことをきっかけとして更なる対策に従業員で検討し講じてくださいました。

私はこの時、地域住民の生活環境を大切にすることを事業者の姿勢に、深く感銘しました。

苦情を受けるということは、嫌なものです。しかし、地域住民との信頼関係を大切にすることは、事業者にとって非常に優先順位の高いものであることは間違いありません。

私たちは、このような業務に携わっておりますと、申立人と事業者のコミュニケーションを円滑に図ることが、いかに大切であることを痛感します。ですから、私たちが間に入ることで事業者のみならず、地域の住民と信頼関係が保てるような、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

もし、今後私たち職員が苦情対応で伺うことがありましたら、地域住民との信頼関係を築く「橋渡し役」と解釈していただけたら幸いです。



事務局からのお知らせ

平成20年度事業報告・事業計画

平成20年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

理事会(5月19日)【17名出席】

平成20年度環境保全功労者表彰
平成19年度事業報告
平成19年度収入・支出決算
役員(案)の選任について
平成20年度事業計画(案)
平成20年度収入・支出予算(案)

通常総会(5月19日)【83名出席】

平成20年度環境保全功労者表彰
平成19年度事業報告
平成19年度収入・支出決算
役員(案)の選任について
平成20年度事業計画(案)
平成20年度収入・支出予算(案)
講演会『人材と人財』
未来工業(株)取締役相談役 山田昭男氏
意見交換会(47名出席)

環境月間(6月1日~6月30日)

公害防止施設の点検整備の実施
事業所内外の清掃美化の実施
「環境の日及び環境月間行事実施要領」を参照の上、積極的な行事への参加。

清掃奉仕活動(6月7日)【66社・1,236名参加】

環境基本法第10条の主旨に基づき地域環境美化活動に参加する。
三保真崎海岸の清掃奉仕活動

「ストップ温暖化!100万人参加プロジェクト」への協力について(6月26日~7月12日)

静岡市主催に協力

県内優良施設見学研修会(9月4日)【41名参加】

ハウス食品(株) 静岡工場
ヤマハ(株) 本社工場

興津川クリーン作戦(9月6日)【691名参加】

興津川保全市民会議主催に協力

担当者研修会(10月)

環境保全担当者の実務研修会

県外優良施設見学研修会(11月6日~11月7日)

核融合科学研究所
エーザイ(株) 川島工園

事例発表会(1月)

会員による環境問題の取り組み事例発表会

環境セミナー(2月)

環境学習

会報発行(9月・3月)

会報「かんきょう」Vol.8号・9号を発行

啓発活動(随時)

クールビズ・ウォームビズ励行への協力
会員増加の啓発活動

情報提供(随時)

● 表紙の写真について ●

サンクチュアリー

1981年8月13日より27年以上費やし、今だ建設が完成せず現在進行形で進められている建築物で、チーク材やハード材等を使用し古典芸術、彫刻、技術保護を目的としています。

木造建築の高さ、幅は約100メートル、総面積は約2,115平方メートル。建築中なのでヘルメットを被っての見学となり、希望すれば英語のガイドが建物を説明してくれます。1日2回イルカショーも有り。

清水エスパルス カーボン・オフセットの取り組みについて

発生した二酸化炭素(CO²)を相殺(オフセット)する「カーボン・オフセット」が地球温暖化対策の大きな柱の一つとして注目されています。そこで当会の役員である、鈴与(株)の代表取締役副社長、早川巖氏が代表を務める(株)清水エスパルスは、日本平スタジアムでホームゲーム開催時に発生するCO²をオフセットするためにカーボン・オフセットの取り組みを始めています。

2007年12月27日、エスパルスは日本のプロスポーツ界で初めて「カーボンオフセットクラブ化」を宣言。ブラジルより二酸化炭素排出権を購入し、京都議定書の約束期間にあわせて向こう5年間のホームゲームをカーボンオフセットマッチとしました。「エスパルスエコチャレンジ」のスタートです。そしてそれ以来、日本平スタジアムで使われた紙コップがトイレトーパーとして還ってくるシステム、エコグッズの開発と販売、グリーン電力マッチ、選手会によるエコマッチ、エコブックによる啓蒙活動などと、その活動はあらゆる場面で広がっています。

でもなぜプロサッカークラブが? その理由は、環境に地域に貢献することがクラブの使命だと考えるからです。サッカーはボール一個あればできるスポーツです。それが世界中で愛され親しまれている理由のひとつでもあるのですが、同時にその事実は、環境が破壊されればできなくなることを意味します。現実にもルディブヤツバルなどは、温暖化により国そのものが無くなる危機に瀕しています。同じサッカーを愛する者として、見逃すわけにはいきません。このまま温暖化が進行すれば、わたしたちは次世代にサッカーを楽しむ環境を残すことすらできなくなるのです。一人ができることは小さいけれども、みんなの力が集まれば、大きなうねりとなります。ぜひ、エスパルスと一緒に今日からエコを始めましょう。

Start the eco life みんなの力で地球は救える!(by 選手会)



【平成20年9月30日現在会員数】 188事業所

随時会員を募集しております。
詳細は事務局までお問い合わせください。

【発行】静岡市環境保全推進協力会
【事務局】〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡庁舎 環境局 環境創造部 環境保全課内
TEL054-221-9373 FAX054-221-1186
ホームページURL <http://www.shizuoka-kankyosuishin.jp/>